



藤沢市片瀬東浜 境川からのごみが大量に漂着

春の嵐襲来！海岸は一気にごみだらけに！

毎年、4月に襲来することが多い春の嵐。今年は1ヶ月早く3月上旬に訪れ、大きな爪痕を海岸に残していきました。

3月に入ると、1日、5日、8日・9日と次々と太平洋沿岸を低気圧が通り過ぎていき、そのたびに大雨が降り、通過後には強い南風が吹き荒れました。



鎌倉市由比ガ浜 滑川からのごみが漂着

中でも最多の海岸ごみを招いたのは、平塚市域で合計雨量が183mm、その他沿岸域でも軒並み100mm以上を記録した8日・9日の大雨でした。1日、5日の降雨では大してごみが漂着しなかったため、安心していたところに、8日・9日でごみがドカンと海岸に漂着してしまいました。

特に酷かったのが、鎌倉市滑川、藤沢市境川・引地川、平塚市金目川、小田原市酒匂川等の河口部周辺の海岸で、木くずなどの自然ごみに、プラスチックなどの人工ごみが混じって、写真のような状況となってしまいました。

通常、春の嵐は、雨が少ない冬場に河川等に溜まったごみを一気に流出させるため、海岸にごみの漂着をもたらすだけでなく、そのごみ量の多さも困りもので



大磯町北浜 金目川からのごみが漂着

ですが、今回、一番困ったことは、これが年度末の3月に来てしまったことです。海岸清掃は、気候が良く海岸の利用頻度

が高い4月～10月に軸足をおいて実施していますが、今年度は10月下旬に台風21号・22号が襲来し、その清掃が年明けま



小田原市酒匂川河口右岸

でかかったため、年度内の清掃実施日は残りわずかとなってしまい、今回の春の嵐のごみに対して、出来ることは限られているのが現状です。

冬が明け、徐々に春めいてきた海岸には、多くの方が訪れ始めているので、財団職員による直営清掃や、ボランティアさんへの情報提供など、色々な手を尽くして、少しでも良い海岸環境にしていかなばと考えています。



庄崎賀絵氏



湘南クリーンエイド倶楽部 五十嵐実氏



平成 29 年度海岸美化団体等交流会開催しました

3月3日(土)、神奈川県藤沢土木事務所汐見台庁舎にて、平成29年度海岸美化団体等交流会が開催され、81団体・141名の参加がありました。

交流会は講演からスタート。2010年千葉国体のセーリング競技 成年女子SS級で優勝された庄崎賀絵さんから「SAILING! COMING! ~セーリング競技とその魅力~」と題し、競技者目

線からセーリングの基本からその魅力などについて多くの画像や動画など交えてお話いただきました。

次に、美化財団から長年に渡る活動やご協賛に感謝して「ジャパンウェルネス株式会社」「神奈川県立小田原東高等学校」「湘南藤沢市民マラソン実行委員会」に感謝状を贈呈しました。

続いて、湘南クリーンエイド倶楽部

の五十嵐実さんから、ビーチクリーン駅伝などについての活動を発表していただきました。

最後の懇親会は、普段接する機会がない方々に直接お会い出来たり、他団体への紹介のお願いがあったり、新たな出会いや繋がりが生まれる場となりました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

神奈川県公立高校入試問題に掲載されました！

平成30年度神奈川県公立高等学校の入学試験の英語の問題に、美化財団のwebサイトに公開している海岸ごみの内訳データを利用したグラフが掲載されました。

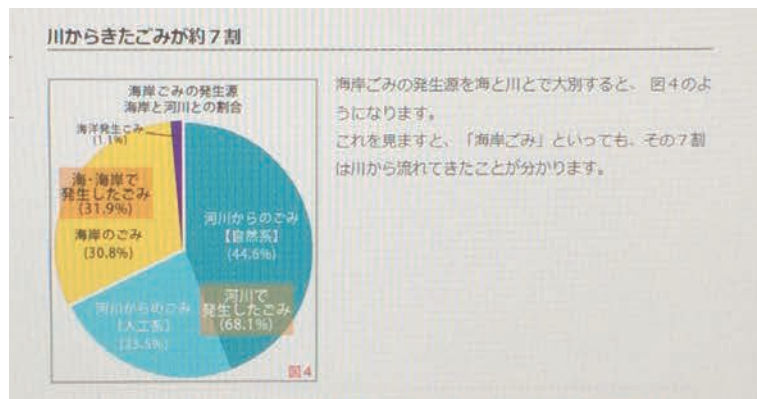
単に、グラフが使われただけでなく、英文長文読解の内容が、海岸ごみについてだったのです。

海岸にあるプラスチック類やペットボトルなどはどこから来た

のか。これらすべては夏に海岸に遊びに来た人々が残したのでしょうか。それらは3割に過ぎず、残りは川から来ています・・・

などなど、財団職員が日々、各所で訴えていることが英文でかなりの長文で掲載されています。

海岸清掃したことがある中学生でしたら、受験会場で、おっ！と思ったかもしれませんね。



海岸ごみでボヤ発生



先日、二宮町の押切海岸にパトロールに行ってみると、海岸の入り口から煙が・・・

工事の粉塵が派手に舞い上がっているのかと思いきや、なんと海岸に漂着した木くずから炎があがっているではありませんか。

海からの風で出入り口のトンネルが煙突の役割になり、後背地の住宅街に煙が派手に流れ出て、周囲はちょっとした騒ぎの様相に。

出入り口付近の燃え方がひどく、もしかしたら、ポイ捨てタバコで引火したのかもしれません。なんとも人騒がせな海岸のボヤでした。



桜美林大学 インターンシップ生 2名の受入れを行いました

3月1日から8日までの5日間、桜美林大学からインターンシップ生2名の受入れを行いました。

学生2名は、3月3日に開催した「交流会」をコアイベントに美化財団の様々な業務を体験。

初日は、財団の概要とビジネスマナー講習を受けた後、早速、強風の中、

海岸で清掃作業に従事。

また、2日目は、藤沢市リサイクルプラザと北部環境事業所で、実際のごみ処理の現場を自分たちの目で確認。

また、交流会では事前に作成した名刺をもって名刺交換をしたり、海岸美化の取り組みなどのアンケート調査を行ったりしました。

4日目は、三浦半島で海岸パトロールを体験。相模湾沿いとは異なる小さな海岸を見て回りました。

最後の日は、5日間の体験を学生自身がまとめた30分間のプレゼンテーション。財団に対する来前とのイメージの差など、財団職員にとっても気づきのある発表になっていました。

環境出前授業 | 三浦市立上宮田小学校

三浦市立上宮田小学校へ環境出前授業に行ってきました。

5年生 42名が、まずは学校から徒歩 10 分の三浦海岸でビーチクリーンアップ。あまりごみがないように見えた海岸でしたが、足元をよく見るとたくさんの釘が落ちていたので、釘を中心に拾いました。また、生徒達が勉強しているマイクロプラスチック探しも行いました。

結果、45ℓごみ袋 5 袋のごみを集めることができました。マイクロプラスチックはあまりありませんでした。(マイクロプラスチックになる前の少し大きめのプラ片はたくさんありました。)

清掃後は学校に戻って海岸ごみの講義を実施。海岸ごみの種類や量、発生原因やマイクロプラスチック問題などについて話をしました。



なぎさ通信

●ご寄付いただきました

今年も新江ノ島水族館（江の島ピーエフアイ株式会社）様から、『えのすいeco活動』による寄付金をいただきました。ご寄付は海岸美化のために役立させていただけます。ありがとうございました。

●ご協賛いただきました

美化財団の特別法人会員である株式会社ガイア様からごみ袋を10,000枚（可燃：5,000枚、不燃：5,000枚）ご協賛いただきました。ありがとうございました。

●ご協賛いただきました

湘南藤沢市民マラソン実行委員会様からごみ袋を26,000枚（可燃：13,000枚、不燃：13,000枚）ご協賛いただきました。ありがとうございました。